

都市再生整備計画 事後評価シート
鷹栖地区

令和4年3月

北海道鷹栖町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	鷹栖町	地区名	鷹栖地区		面積	37.9ha
交付期間	平成28年度～令和2年度	事後評価実施時期	令和3年度	交付対象事業費	1,313百万円	国費率	0.4	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	地域生活基盤施設(中心市街地多目的広場)、高質空間形成施設(北2丁目2号、北3丁目4号、北3丁目、南3丁目2号、北1条4号、北1丁目)、高次都市施設(地域交流センター)						
	提案事業	なし						
	当初計画から削除した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
	基幹事業	高質空間形成施設(北2丁目2号)	事業精査による変更			影響なし		
	提案事業	なし						
新たに追加した事業		事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
基幹事業	高質空間形成施設(北2丁目3号)	事業精査による変更			影響なし			
提案事業	なし							
交付期間の変更		当初	平成28年度～令和2年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				
	変更							

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	コミュニティ施設の利用回数	回	3.1	H26	4.0	R2	5.9	2.9	△	あり なし ●	令和元年度までは目標達成の見込みであったが、コロナ禍により施設が休館となった期間があったため達成には至らなかった。	R4年度内
	指標2	定住人口	人	2,171	H26	2,171	R2	2,032	1,981	△	あり なし ●	計画の実施により、快適で安全に生活できる環境づくりを行うことができたが、人口減少に歯止めをかけることはできなかった。	R4年度内
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
指標5										あり なし			

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												

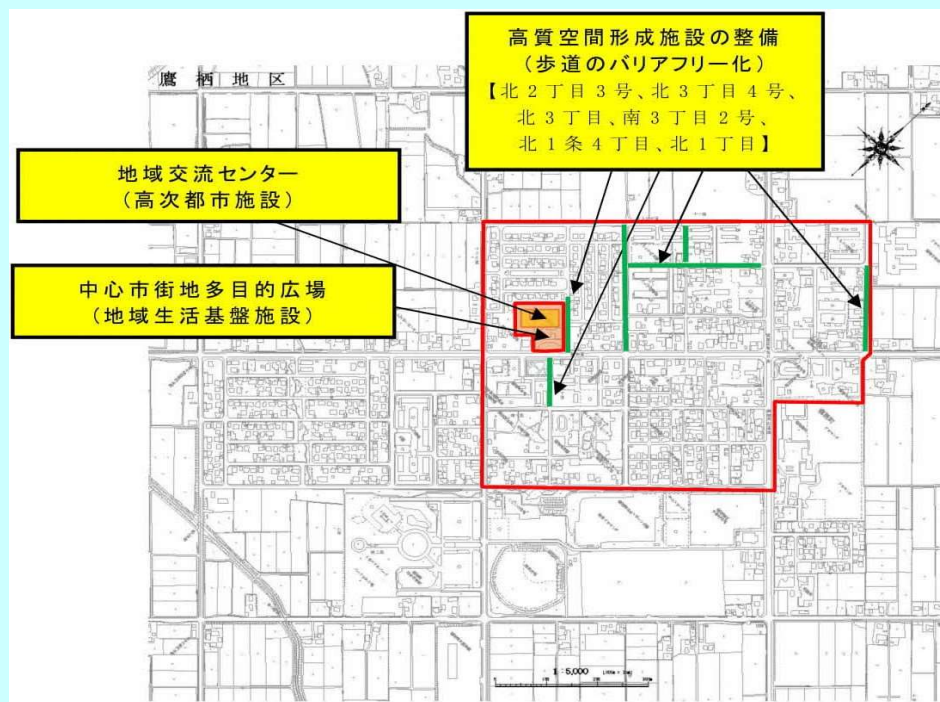
4)定性的な効果発現状況

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	成果指標数値の確認	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	モニタリング同様、毎年度の成果指標数値を確認する。	
	住民参加プロセス	事業の調整について、中心市街地の組織と協議する。 【鷹栖地区住民センター住民協議会】	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	今後も町民や団体等の意見を聞いて、利用促進等を図っていく。	
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた				
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				

様式2-2 地区の概要

鷹栖地区(北海道鷹栖町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:「みんな 笑顔で あったかす」をテーマとした元気で活力あるまちづくり 目標1-いきいきとした生涯元気なひとづくりによる地域コミュニティの活性化 目標2-快適で生活しやすい暮らしづくりによる生活環境の向上 目標3-人々がふれあう地域づくりとまちづくり	コミュニティ施設の利用回数	単位:回	3.1 H26	4.0 R2	2.9 R2
	定住人口	単位:人	2,171 H26	2,171 R2	1,981 R2
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	コミュニティ拠点施設の整備により、地域コミュニティの活性化が図られた。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設を中心に更なる地域コミュニティの活性化を図り、地域課題解決等に向けた地域運営の基盤づくりを進めていく。 市街地の活性化に向けた基本構想、基本計画の策定作業を行っている。策定された構想、計画をもとに事業の推進を図っていく。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域生活基盤施設	中心市街地多目的広場	123	A=4,200㎡	150	A=7,220㎡	実施設計完了による変更(工事費増)	影響なし	●	
高質空間形成施設	北2丁目2号	5	L=80m		なし	令和元年に計画変更して削除 事業精査による変更	影響なし		
高質空間形成施設	北2丁目3号		なし	6	L=80m	令和元年に計画変更して追加 事業精査による変更	影響なし	●	
高質空間形成施設	北3丁目4号	7	L=120m	8	L=120m	事業費確定による変更(工事費増)	影響なし	●	
高質空間形成施設	北3丁目	10	L=270m	11	L=270m	事業費確定による変更(工事費増)	影響なし	●	
高質空間形成施設	南3丁目2号	10	L=100m	9	L=100m	事業費確定による変更(工事費減)	影響なし	●	
高質空間形成施設	北1条4号	8	L=260m	11	L=260m	事業費確定による変更(工事費増)	影響なし	●	
高質空間形成施設	北1丁目	9	L=275m	11	L=275m	事業費確定による変更(工事費増)	影響なし	●	
高次都市施設	鷹栖町地域交流センター	1,541	A=2,000㎡	1,107	A=2,026㎡	実施設計完了による変更(工事費減)	影響なし	●	
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度						あり	なし		
指標1	コミュニティ施設の利用回数	回	鷹栖町地域交流センターの年間利用者数を対象地区人口で割った数で利用回数を算出。			3.1	H26	4.0	R2	モニタリング	R1	5.9	モニタリング	○	●	
										事後評価	確定見込み	●	2.9	事後評価		
指標2	定住人口	人	鷹栖地区市街地人口の数値			2,171	H26	2,171	R2	モニタリング	H30	2,032	モニタリング	△		●
										事後評価	確定見込み	●	1,981	事後評価		
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	令和元年度までは目標達成の見込みであったが、コロナ禍により施設が休館となった期間があったため達成には至らなかった。年間を通して休館の期間がなければ目標達成の見込み。	
指標2	計画の実施により、快適で安全に生活できる環境づくりを行うことができたが、人口減少に歯止めをかけることはできなかった。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)	本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度			
その他の 数値指標1							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標2							モニタリング		
							事後評価		
その他の 数値指標3							モニタリング		
							事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
成果指標数値の確認	予定どおり実施した	【実施頻度】毎年度1回 【実施時期】毎年度4月 【実施結果】採用した指標は毎年度、数値が整理されているものであるため、モニタリングを容易に実施することができ、かつ、交付期間途中で供用した事業の効果を確認することができた。	モニタリング同様、毎年度の成果指標数値を確認する。
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
事業の調整について、中心市街地の組織と協議する。 【鷹栖地区住民センター住民協議会】	予定どおり実施した ●	【実施頻度】計20回 【実施時期】平成27年度～令和元年度 【実施結果】地域交流センターの基本設計、管理運営等について意見を聞き、反映させた。	今後も町民や団体等の意見を聞いて、利用促進等を図っていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(鷹栖市街地活性化プロジェクトチーム)	鷹栖市街地プロジェクトチーム(総務企画課、健康福祉課、産業振興課、建設水道課 職員)	H30年度～R2年度 計9回	総務企画課地域振興係

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1							
指標名		コミュニティ施設の利用回数							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域生活基盤施設	◎	地域コミュニティの拠点整備により、子どもから高齢者まで誰もが集える場が確立し、イベントのほか、日常的に利用する人が増加している。						
	高質空間形成施設	○							
	高次都市施設	◎							
提案事業									
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後も町民や団体等の意見を聞いて、利用促進等を図っていく。				
-------	-------------------------------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標2																						
指標名		定住人口																						
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類											
基幹事業	地域生活基盤施設	△	人口減少に歯止めをかけることはできなかったが、地域交流センターと公共施設、公営住宅を結ぶ歩道をバリアフリー化することにより、誰もが快適で安全に生活できる環境づくりをすることができた。	I																				
	高質空間形成施設	△																						
	高次都市施設	△																						
提案事業																								
関連事業																								

※目標未達成への影響度
 ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 -: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	定住人口の確保に向け、更なる取り組みを進めていく。			
------------------	---------------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的な組織(鷹栖市街地活性化プロジェクトチーム)	鷹栖市街地プロジェクトチーム(総務企画課、健康福祉課、産業振興課、建設水道課 職員)	H30年度～R2年度 計9回	総務企画課地域振興係(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
人口減少や少子高齢化、商店街の衰退等により、中心市街地である鷹栖市街地の空洞化	コミュニティ拠点施設の整備により、地域コミュニティの活性化が図られた。	賑わいの創出等、市街地全体の活性化にはまだ至っていない。	なし

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	地域コミュニティの活性化	拠点施設を中心に更なる地域コミュニティの活性化を図り、地域課題解決等に向けた地域運営の基盤づくりを進めていく。	地域運営の基盤づくりに向けた伴走支援

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	賑わいの創出等、市街地全体の活性化	市街地の活性化に向けた基本構想、基本計画の策定作業を行っている。策定された構想、計画をもとに事業の推進を図っていく。	賑わい創出に向けた施設整備及び地域運営主体の育成
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	コミュニティ施設の利用回数	回	3.1	H26	4.0	R2	確定 ●	2.9	△	あり ●	→	令和5年4月	鷹栖町地域交流センターの年間利用者数を対象地区人口で割った数で利用回数を算出。	
指標2	定住人口	人	2,171	H26	2,171	R2	確定 ●	1,981	△	あり ●	→	令和5年4月	鷹栖地区市街地人口の数値	
指標3				H		H	確定			あり	→			
指標4				H		H	確定			あり	→			
指標5				H		H	確定			あり	→			
その他の数値指標1				H			確定				→			
その他の数値指標2				H			確定				→			
その他の数値指標3				H			確定				→			



添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	モニタリングを実施したことにより、交付期間途中に供用した事業の効果を確認することができた。	毎年データを算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため、指標を設定するには計測のことも考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	採用した指標は毎年度、数値が整理整理されているものであるため、モニタリングを容易に実施することができ、かつ、交付期間途中に供用した事業の効果を確認することができた。	モニタリングの実施は、事業の進捗状況を確認できて有効である。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町ホームページに掲載	令和4年3月上旬～中旬	2～3週間程度	担当課への 電話、FAX、メール	総務企画課地域振興 係(都市再生整備計画 事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	
-------	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	北海道立総合研究機構 北方建築総合研究所、大雪土地改良区、教育委員会委員、商工会会員、農業委員会会長、鷹栖町民生委員児童委員	第1回 令和4年3月22日	総務企画課地域振興係	既存機関を活用(都市計画審議会)	既存組織(都市計画審議会)そのものを位置づけ。
その他の委員	町議会議員				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書の作成なし
	成果の評価	・成果の評価は妥当であると認められた。
	実施過程の評価	・実施過程の評価は妥当であると認められた。
	効果発現要因の整理	・事業の実施により、人口減少に歯止めをかけることはできなかったが、定住人口の確保の効果が出てくるには、もう少し時間がかかるのではないかという意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案は、町民にわかりやすく公表されたことが確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・ハード整備を活かしたソフト事業の充実による地域活性化に期待するという意見があった。
	フォローアップ	・フォローアップは単に数値だけではなく、各項目の分析をしっかり行い、今後のまちづくりに活かすよう意見があった。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
なし		

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画「第3回変更」

たかす
鷹栖地区

ほっかいどう たかすちょう
北海道 鷹栖町

令和2年4月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	鷹栖町	地区名	鷹栖地区	面積	37.9	ha
計画期間	平成	28	年度	～	令和	2	年度	
交付期間	平成	28	年度	～	令和	2	年度	

<p>目標</p> <p>大目標:「みんな 笑顔で あったかす」をテーマとした元気で活力あるまちづくり</p> <p>目標1ーいきいきとした生涯元気なひとづくりによる地域コミュニティの活性化 目標2ー快適で生活しやすい暮らしづくりによる生活環境の向上 目標3ー人々がふれあう地域づくりとまちづくり</p>																													
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 本町では、人口減少や少子高齢化、商店街の衰退等により、中心市街地である鷹栖地区の空洞化が進み、都市としての求心力が低下している。一方で、中心市街地には公共施設や医療福祉施設、公共交通のアクセスポイント等が集約されている。こうしたことから、地域交流センターを核とした中心市街地の整備を行い、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持、持続可能な市街地形成を進めていく。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鷹栖町は、旭川市・和寒町に囲まれ一級河川オサラッペ川が縦断する盆地状をなし、開けた平地では地味も肥沃で道内有数の稲作地帯であると同時に自然豊かな町である。 ・北海道第二の都市である旭川市に隣接し、旭川鷹栖インターがあることから北海道縦貫自動車道に直結しており、道路網が良好な環境にある。 ・平成7年にオーストラリア・ゴールドコースト市と姉妹都市提携を結び、平成27年に20周年を迎え、中学生によるホームステイやALTを中心とした交流事業を展開し、国際化に向けた取組みを進めている。 ・2つの市街地において宅地造成による居住誘導を進め、都市計画区域内の人口が80%を超えている。 ・橋梁や都市公園、公営住宅など長寿命化計画を策定し、ストックの健全維持に留意し、町民が安心して利用できる環境づくりを進めている。 ・平成25年に「お互い様づくり行動計画」を策定し、高齢者や子育て世代が安心して生活できるよう、環境整備を進めている。 ・「みんな 笑顔で あったかす」をテーマに、生涯にわたって自立し、住民一人一人が笑顔で暮らせる町づくりを進めている。 <p>課題</p> <p>本町では、人口減少や少子高齢化、商店街の衰退等により、中心市街地である鷹栖地区の空洞化が進み、都市としての求心力が低下している。一方で、中心市街地には公共施設や医療福祉施設、公共交通のアクセスポイント等が集約されている。こうしたことから、地域交流センターを核とした中心市街地の整備を行い、都市機能の拡散防止と中心市街地の公共・公益サービス機能の維持を図る。</p> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民のコミュニティづくりを推進する。 ・中心市街地への定住を促進し、市街地と農村部との交流も含めた活気にあふれたまちをつくる。 ・農村部における人口減少の現状を真摯に受け止め、将来的に農村地区の地区住民センターを本計画における地域交流センターに集約する検討を進める。 																													
<p>都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>都市機能配置の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地は、公共交通の結節機能、衰退しているものの商店街や公共施設等を有しているところであるが、人口減少、高齢化の傾向が顕著なところであるため、日常生活を支えるサービス機能、地域コミュニティの維持・増進機能の強化を図る。 <p>都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等</p> <p>記載不要</p>																													
<p>目標を定量化する指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">定 義</th> <th rowspan="2">目標と指標及び目標値の関連性</th> <th colspan="2">従前値</th> <th colspan="2">目標値</th> </tr> <tr> <th></th> <th>基準年度</th> <th></th> <th>目標年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティ施設の利用回数</td> <td>回</td> <td>住民1人あたりにおける1年間の施設利用回数</td> <td>地域コミュニティの拠点整備により、子どもから高齢者まで誰もが自主的に集える場が確立し、生涯元気を目的とした社会教育活動が推進される。また、イベント等に限らず日常的に利用する人が増えることで、交流の増加とともに地域コミュニティの活性化につながると考え、利用回数の増加を目標としている。</td> <td>3.1</td> <td>H26</td> <td>4.0</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>定住人口</td> <td>人</td> <td>鷹栖地区市街化区域内の定住人口</td> <td>地域交流センターと公共施設、公営住宅等を結ぶ歩道をバリアフリー化することにより、誰もが快適で安全に生活できる環境づくりにつながる。高齢者や子どもたちが安心して暮らせる環境を整えることで、誰もが住み続けられるまちづくりを目指し、地域内での人口減少を抑制することを考え、定住人口を目標としている。</td> <td>2,171</td> <td>H26</td> <td>2,171</td> <td>R2</td> </tr> </tbody> </table>		指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値			基準年度		目標年度	コミュニティ施設の利用回数	回	住民1人あたりにおける1年間の施設利用回数	地域コミュニティの拠点整備により、子どもから高齢者まで誰もが自主的に集える場が確立し、生涯元気を目的とした社会教育活動が推進される。また、イベント等に限らず日常的に利用する人が増えることで、交流の増加とともに地域コミュニティの活性化につながると考え、利用回数の増加を目標としている。	3.1	H26	4.0	R2	定住人口	人	鷹栖地区市街化区域内の定住人口	地域交流センターと公共施設、公営住宅等を結ぶ歩道をバリアフリー化することにより、誰もが快適で安全に生活できる環境づくりにつながる。高齢者や子どもたちが安心して暮らせる環境を整えることで、誰もが住み続けられるまちづくりを目指し、地域内での人口減少を抑制することを考え、定住人口を目標としている。	2,171	H26	2,171	R2
指 標	単 位					定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値																			
			基準年度		目標年度																								
コミュニティ施設の利用回数	回	住民1人あたりにおける1年間の施設利用回数	地域コミュニティの拠点整備により、子どもから高齢者まで誰もが自主的に集える場が確立し、生涯元気を目的とした社会教育活動が推進される。また、イベント等に限らず日常的に利用する人が増えることで、交流の増加とともに地域コミュニティの活性化につながると考え、利用回数の増加を目標としている。	3.1	H26	4.0	R2																						
定住人口	人	鷹栖地区市街化区域内の定住人口	地域交流センターと公共施設、公営住宅等を結ぶ歩道をバリアフリー化することにより、誰もが快適で安全に生活できる環境づくりにつながる。高齢者や子どもたちが安心して暮らせる環境を整えることで、誰もが住み続けられるまちづくりを目指し、地域内での人口減少を抑制することを考え、定住人口を目標としている。	2,171	H26	2,171	R2																						

<都市再生整備計画の目標及び計画期間>

※この記入要領は都市再生整備計画の提出時に添付する必要はない

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1ーいきいきとした生涯元気なひとづくりによる地域コミュニティの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のコミュニティ活動の高揚を図り、連帯と協調にささえられた住民主体・住民参加のまちづくりを推進するため活動拠点となる施設整備を行う。 ・老朽化した農村部地区住民センターから中心市街地の拠点施設へ誘導を図る。 <p>※鷹栖町立地適正化計画の中で、都市機能誘導区域における誘導施設として、鷹栖町地域交流センターの整備を掲げており、適合するものである。</p>	<p>【高次都市施設(基幹事業・町)】:鷹栖町地域交流センター整備事業</p>
<p>整備方針2ー快適で生活しやすい暮らしづくりによる生活環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や子ども達などの混住する中心市街地において、安心安全な歩道環境の整備を推進するため、歩道のバリアフリー化を行う。日常生活における安全面の向上は地域住民のニーズも高く、整備による居住人口の維持を図る。 ・中心市街地への回遊性を高めるため公共交通体系の見直しを整備する。 <p>※鷹栖町立地適正化計画の中で、居住誘導区域として不便なく日常生活を送れる地域・生活拠点としての役割を設定していることから、歩道のバリアフリー化は計画に適合するものである。</p>	<p>【高質空間形成施設(基幹事業・町)】:北2丁目3号、北3丁目4号、北3丁目、南3丁目2号、北1条4丁目、北1丁目 参考【関連事業・町】:町営バスデマンド化</p>
<p>整備方針3ー人々がふれあう地域づくりとまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民が気軽に集える多目的広場を整備し、住民参加の促進を目指した住民参加型イベントの充実を図る。 <p>※鷹栖町立地適正化計画の中で、都市機能誘導区域における施策として、鷹栖町地域交流センターの整備(中心市街地多目的広場含む)を掲げており、適合するものである。</p>	<p>【地域生活基盤施設(基幹事業)】:中心市街地多目的広場</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○既成市街地からの都市機能の拡散防止措置について <ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅の整備方針を定めた計画を策定し、良好な住環境で高齢化社会に対応した公的賃貸住宅の整備を図る。 ・未利用地の整理と共に市街地内の空き家対策など単独の補助事業により誘導を図る。 ○交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> ・事業の調整について、中心市街地の組織と都市計画審議会で協議する。 ・事業の問題に対する解決について、役場各課の代表で協議し対処する。 ・計画の内容について最新の情報を、ホームページに掲載し、毎年の実施事業を年度当初の広報を通じて周知する。 ○事業終了後の持続的なまちづくり体制について <ul style="list-style-type: none"> ・事業完了後の評価について、都市計画審議会において事後評価を行なう。 	

